

# 医学研究実施のお知らせ

厚木市立病院倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

**【研究課題名】** 免疫チェックポイント阻害薬使用時における痛みの増強について

## 【研究の概要】

### ■研究の目的

抗がん剤による治療は殺細胞薬剤、分子標的治療薬剤、免疫チェックポイント阻害剤（ICIs：immune checkpoint inhibitors）と多くの薬剤が承認を受け、単剤から組み合わせによる治療が行われている。厚木市立病院（以下：当院）においても ICIs が多くの患者に投与されている。免疫関連による副作用（irAE：immune related adverse events）は殺細胞薬と異なるため、多岐にわたるモニタリングを必要とする。その中で、当院において ICIs 投与時に疼痛が増強する患者を経験した。近年では、疼痛に PD-1（programmed cell death 1）、PD-L1（programmed cell death ligand 1）が関与しているとの報告があり、投与後の疼痛増強の有無を確認することにより、疼痛増強が ICIs の効果の指標として新しい知見となる可能性があると考えた。また、ICIs による投与早期からの irAE は治療効果との相関性が報告されている。そこで当院で投与された患者において疼痛増強と無増悪生存期間について精査し、ICIs 治療効果の指標の可能性について検討する

### ■研究期間

2017年7月より2019年10月まで厚木市立病院において免疫チェックポイント阻害剤の投与を受けた患者を対象とする

### ■対象となる方等

研究機関：厚木市立病院

対象となる方：2017年7月より2019年10月まで当院において ICIs（ニボルマブ、ペンブロリズマブ、アテゾリズマブ、デュルバルマブ）の投与を受けた患者

### ■研究に利用する試料、情報等

試料：

情報：患者の年齢、性別、がん種、ICIs 投与前後の NRS（numerical rating scale）、投与回数、irAE の有無、鎮痛薬投与有無、無増悪生存期間の状況を診療録から収集する。

### ■他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

**【問い合わせ先（対応時間： 8:30～17:15 ）】**

薬剤科 斎藤恭正 電話 046-221-1570 内線 7686

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。